

野田村から歌が生まれた！

歌でつながる被災地と被災地

参加
無料

阪神・淡路大震災の被災地「神戸」で 2008 年に始まり、現在は全国の自然災害や戦災で傷ついた地域で行われている合唱プロジェクト「レクイエム・プロジェクト」。

北三陸の地でもその活動が行われ、最初のコンサートは野田村で2014年夏に開催。その主宰者で作曲家の上田益は、東日本大震災からわずか3ヶ月後に野田村を訪れ、野田村出身の詩人・宇部京子氏と「歌」を創り続けてきました。現在7曲になったその歌は、「三陸鉄道が行く～小さな村の物語～」という楽譜になり、今年3月に全国発売されました。被災者の人たちが参加し、それぞれの思いを歌に込め、被災地同士がつながるこの活動の姿をお伝えします。

プログラム

開会挨拶 渥美公秀 大阪大学大学院教授

18:00 野田村から歌が生まれた！ ―歌でつながる被災地と被災地―
講師：上田 益（作曲家 レクイエム・プロジェクト主宰）

20:00 終了・懇親会

講師紹介：

上田 益（うえだ すすむ）

大阪生まれ。京都市立芸術大学作曲専攻卒業。1980年度文化庁芸術家国内研修員。

TV ドラマ、アニメなど幅広いジャンルの音楽作曲を行うほか、レクイエム・プロジェクトを主宰し、これまで北いわて（野田村・久慈）・大船渡・陸前高田・気仙沼・仙台・南相馬・福島・東京・神戸・兵庫県佐用町・広島・長崎・・・沖縄の各地で関連活動を行う。そのうち北いわてを含む7箇所継続活動を行っている。



主催：大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラム
後援：チーム北リアス、大阪大学野田村コミュニティ復興研究会
国立天文台震災復興データセンター

お問い合わせ先

大阪大学野田村サテライト

住所：野田村大字野田 22-114-49 TEL：0194-75-4221

HP：<http://www.respect.osaka-u.ac.jp/satellite-nodamura/>

5月11日(水)

18:00～20:00

大阪大学野田村サテライト



RESPECT